宮城県石巻市・震災復興学習支援　レポート⑱

私塾ネット 出前寺子屋「検定合格講座」

◆活動報告その⑱［２０１２年４月29日］

4月29日、第18回目のスクーリングの指導スタッフとして千葉県から集結したのは10名の皆さんだった。松戸市から谷村志厚と和枝の2名、そして千葉市の松浦さん（教進セミナー）、赤瀬さん（和塾）、下村さん（シンメイゼミナール）、市原市の佐々木さん（若竹綜合学園）、印西市の長岡さん（京葉アカデミー）さらに四街道市から宮澤さん（秀英ゼミナールSS教室）と塾生の高校生2人。

千葉県の広範な地域から馳せ参じた千葉学習塾協同組合（JAC）のお仲間である。これまでもさまざまな共同事業を実施している間柄であるので、初参加の寺子屋活動とはいえ運営はきわめてスムーズであった。これに活動実績豊富な地元の佐久間先生に加わっていただいたのだから、万全の指導陣となった。高校生のお二人にも、英検講座のお手伝いに加わってもらったのだが、若い「先生」の参加に子どもたちの表情もいつになく穏やかであった。

このスタッフ陣に対しこの日の英検講座の受講生はわずか5名とさびしい。春の総体の大会が重なって4名が欠席となった。日曜日午後に限定されるスクーリング活動だが、今後は部活との両立にもなんらかの工夫が必要になりそうだ。昨年はそんな心配をしたことがなかったのだが、思えば昨年は学校生活そのものが震災の影響下にあって異常であったのだ。一年を経て通常の学校のリズムに戻ったともえいよう。

一方、漢検講座に参加されたのは17名、この中には初参加の方が4名含まれている。新規の募集は行っていないのだが、受講生が同伴しての紹介者とあれば受けざるを得ない。両講座計22名の内訳は、小中生が10名に一般社会人が12名であった。この日の漢検講座では、6月受検者の皆さんには過去問題を解いていただき、現在の学力を実感していただいた。2級受検予定者が多いため難度も合格最低点も高くなる。相当の苦戦が予想される結果であった。残された一カ月でどこまで追い込めるか、今後の指導内容が問われよう。

新入生は級位判定に挑戦。結果を説明する佐々木さん、後方は長岡さんと佐久間さん。

千葉の葉加瀬太郎氏「情熱大陸」を奏でる。

ところでこの日の特別プログラムは、オープニングセレモニー時に披露されたの器楽演奏であった。千葉から持ち込んだ色々な打楽器で、JACのスタッフと講習生の皆さんがリズムを刻み、宮澤さんのバイオリンと下村さんのギターがメロディーを奏でる即興の合奏である。葉加瀬太郎の「情熱大陸」を演奏したのだが、講習生の皆さんを巻き込んでの熱演に大きな拍手がおこった。

29日はゴールデンウイークの初日、翌日は連休とあってこの日は石巻泊まりとした。ことにJAC組は千葉から遠路車での石巻入りである。いくら若手メンバー中心とはいえ日帰りはきつい。寺子屋閉講後はただちに帰路につくのがいつものことだが、この日は石巻泊まりとあって時間に余裕がもてた。新中1の講習生の付き添いで来られているおじい様（松崎勤さん）が、石巻市観光協会に属するボランティア観光ガイドをされているのをお聞きしていた。そこでまずこの日は市内のご案内役をお願いすることとした。市内の中心にあり石巻のシンボルともいえる日和山公園に登った。海抜60m、眼下に石巻湾と旧北上川河口を見下ろす景勝の地である。おりから園内の桜が満開を迎えていた。多くの市民が桜の下で花見の宴を楽しんでいる。1年前には花見どころではなかたろうと思われるが、1年の歳月はこれほど人々の生活を変えるのであろうかと、感慨深いものがあった。

松崎さんの説明で眼下に広がる被災地の様子をお聞きする。おりから全山桜が満開である。

献花台に花と線香が絶えない大川小学校。北上川の堤防は左手わずか100mの位置。

翌30日、再び松崎さんのご案内で石巻近郊をご案内いただいた。女川方面は訪問済みであったので、新北上川河口流域を案内していただくこととなった。まず訪れたのが大川小学校である。大川小学校は北上川河口から4キロ上流に位置し、新北上川大橋のたもとにある。川を逆流した大津波は、この学校をまわりの集落もろとも飲み込んだのである。犠牲者は児童108名中74名、教員13名中10名にも及んだ。今回の大津波災害の中でも特筆すべき悲劇の場所である。単独で行くには憚れるが、ご案内いただける方がおればこその訪問である。かつてはモダンで素敵な校舎であったであろうと想像できるが、今はただ無残な姿をとどめている。まわりには集落があったはずだが、なんの痕跡もない。おりから鯉のぼりが揚げられ薫風になびいている。献花台には沢山のお花が供えられ、線香の煙があがっている。我々は無言で学校に手を合わせ、犠牲になられた方々の冥福を祈るばかりであった。市内の門脇小学校の被害状況も悲惨極まりないが、大川小学校は特別な場所だ。ここから何を感じ何を学ぶのか。この現場に立つ者はすべからく自問自答しなければなるまい。市井の教育現場の端っこに身を置く者として、深く深く心に沁みた体験であった。　　報告：谷村志厚（AIM学習セミナー）

出前寺子屋 in 石巻「検定合格講座」の仕組み

活動期間：第Ⅰ期　2011年8月16日～2012年2月4日
第Ⅱ期　2012年2月19日～6月9日

①スクーリング（漢検・英検学習）
2011年8月１６日、９月４日、１８日、１０月２日、１６日、１１月５日、20日、12月11日、２４日、2012年1月8日、22日、2月４日、１９日、3月４日、18日、4月１日、15日、29日、5月13日、27日、6月2日、９日

②会場　仮設開成ささえあい拠点センター集会所

③検定受検
平成24年度第１回漢検2012年6月２日
平成24年度第１回英検2012年６月９日

④受講対象者　仮設住宅、借上げ住宅等に居住する被災市民

⑤受講者特典　教材費・スクーリング受講費・検定料の全額が無料

２３年度第２・３回漢字検定合格者４０名の内訳
2級-5名、準2級-12名、3級-12名、4級-4名、5級-3名、6級-2名、7級-2名　（小中学生15名、一般25名）

ご支援ありがとうございます

当活動は支援参加者個人の負担と、ご援助をいただいた皆さんの浄財で運営しております。平成23年10月23日以降平成24年3月4日現在で、16の塾および学校さんから、総額311,438円の献金をいただきました。ありがとうございます。引き続き応援をお願します。支援金の使途は、検定料、教材費の直接費用と現地移動交通費、通信費、スタッフ昼食費の間接費用にかぎり計上させていただいています。

主催：全日本私塾教育ネットワーク（略称・私塾ネット）